

## 7. しゃくやく

・殺菌剤

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
19	ポリオキシシナL水溶剤	散布	発病初期	8回以内	花き類・観葉植物

・殺菌剤（参考農薬）

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
10+1	ゲッター水和剤	散布	-	5回以内	花き類・観葉植物（ひまわり、ゼラニウムを除く）

- 注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。
- 注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。
- 注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。
- 注4) 蚕毒・魚毒については、「28. 花き類の総括注意」も参照する。

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

病害虫名	防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
灰色かび病 (F)	生育期間	1. 過湿にならないよう密植を避け、施設では換気を図る。 2. 株元の枯死葉は伝染源になるので早めに除去する。 3. 発病を見たら、直ちに罹病部を除去し、薬剤を散布する。 4. ポリオキシシナL水溶剤 2,500 倍液を散布する。 [参考農薬] 1. ゲッター水和剤 1,000 倍液を散布する。	1. 薬剤耐性菌の出現を避けるため、同一系統の薬剤を過度に連用しない。
菌核病 白絹病 (F)	生育期間	1. 密植栽培しない。 2. 発病株を認めた場合は直ちに抜き取り、ほ場外に埋却する。	1. 未熟有機物を多用すると多発することがある。
根頭 がんしゅ病 (B)	植付前	1. 無病苗を使用する。	
コウモリガ	生育期間	1. 被害部を見つけ次第取り除き、食入幼虫を捕殺する。	